

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	声優演技Ⅰ	
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	105時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	使用する台本はその都度配布する。						
担当教員情報							
担当教員	千葉繁			実務経験の有無・職種	有・声優 俳優 演出家		
学習目的							
この科目を受講する学生は、これから自分が向かおうとする役者・声優の世界が、どのようなものであるのかを実践を通じて強く認識できるようになる事を目指す。特に声優の場合は、言葉だけで全てを表現しなければならない難易度の高い仕事だが、まずは目一杯「体」を動かした演技を学び、その経験の一つ一つを『表現者の道具箱』から取り出し二次元のキャラクターに命の通った言葉や息使いを提供するのだ、という事を学ぶ。夏休み前に観客の前で実際に演じ、成果発表を行う。							
到達目標							
この科目を受講した学生は、各々の目標である『プロの俳優・声優』になるには近道などはなく、真摯な心で一つ一つ経験を重ねて行くことがいかに大事なのかを知る事ができる。エチュードを行う事で、自分自身の心と向き合い芝居に活かす事ができるようになる。台本を読み解き、そこに書かれてあるシチュエーションを体を使って立体的に表現する事で、キャラクターを演じる時に核心に触れた人物を演じる事ができるようになる。これらを通じてアテレコやアフレコをするためには、マイク前の技術ではなく、俳優としての基礎が必要だと理解する事ができる。							
教育方法等							
授業概要	エチュードで心と向き合う。本読みで台本に書かれていない所まで想像を働かせる。荒立ち稽古で実際に動きながら芝居を行い、本読みと実際の演技との違いを理解する。通し稽古で、音響と照明を使用し、間や表現が変わる事を感じ取る。本番ではお客様を前に実際に演じ、芝居の楽しさを味わう。それらを活かし、殺陣、アテレコ、アフレコ、フリートークを行って行く。さらにグループワークなどを通じて、プロの世界では甘えは通用せず、協調性、責任感、真摯な努力がいかに大切であるかを理解することができる。						
注意点	授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、本番体制（通し稽古）に入ってから連絡のない遅刻・欠席に関しては最悪役を降りてもらおう可能性がある。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。						
評価方法	種別	割合	備考				
	試験・成果発表	30%	練習から発表までの伸び率によって総合的に評価する。				
	平常点	70%	真剣に授業に向き合っているか、積極的な授業参加度によって評価する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	エチュード 1			台本を使わず、与えられたシチュエーションの中で、動く、喋る、の基本となる『動機』を理解する。			
2回	エチュード 2			前回と別の与えられたシチュエーションの中で、動く、喋る、の基本となる『動機』を理解する。			
3回	本読み			他人の書いた言葉を読み解き、それをいかに表現するかを考える。			
4回	成果発表用の戯曲を創り上げる（1）			本読みで理解した自分の役（役割）を実際に肉体を使って表現し、自分ではなく他人を生きる事の難しさ、楽しさを学ぶ。			
5回	成果発表用の戯曲を創り上げる（2）			本読みで理解した自分の役（役割）を実際に肉体を使って表現し、自分ではなく他人を生きる事の難しさ、楽しさを学ぶ。			
6回	成果発表用の戯曲を創り上げる（3）			現在表現している、または表現したいと思っている演技の矛盾点を徹底的に洗い出し、表現の精度を高めて行く。			
7回	成果発表用の戯曲を完成させる（1）			現在表現している、または表現したいと思っている演技の矛盾点を徹底的に洗い出し、表現の精度を高めて行く。			
8回	成果発表用の戯曲を完成させる（2）			これまで部分的に稽古してきたシーンを1本の作品としての流れの中で確認し、そこから見えて来る問題点を見つけ修正して行く。			
9回	最終的なりハーサル			音響、照明などを含めた、本番に向けての最終調整。			
10回	成果発表 本番（1）			本番を通じて『役者』というものの本質を学ぶ。			
11回	成果発表 本番（2）			本番を通じて『役者』というものの本質を学ぶ。			
12回	殺陣			戦う者同士がどのような背景（家族や使命）を持っているのかを考え、決められた動きの中で生きた殺陣を学ぶ。			
13回	アテレコ			英語などのガイドが入った映像に、キャラクターの個性などを考え声を当てて行く事の難しさ、また楽しさを学ぶ。			
14回	アフレコ			ガイドなど一切なく、二次元で表現される映像のみの情報から演技を構築し表現する事の難しさ、また楽しさを学ぶ。			
15回	フリートーク			大まかに決められた設定の中、各々与えられた役割をアドリブのみで創り上げて行く。			